

■文部科学省選定

■推薦:(財)全日本交通安全協会

交通安全教育ビデオ VHS・DVD【カラー・19分】

一秒のミス 心のミス

危険予測と安全確認



ドライビングレコーダーに録画された
事故の瞬間 一秒のミスが死を招く…



※DVDではメニュー画面で
字幕版も選択できます

企画意図

交通事故は、毎日毎日起こっています。事故を起こした人の中には、「自分は安全運転をしていたのに相手が予想外の行動をしてきた」と言う人も少なくありません。しかし、相手の予想外の行動を想定し、常に危険予測を怠らない運転が、事故を起さないための、本当の安全運転と言えます。

そこで、この作品では、実際の事故を捉えたドライビングレコーダーの映像や、事故の再現映像を織り交ぜながら検証していきます。そして、B級ライセンス取得者でもある女性ドライバーに出演してもらい、交通事故が多発する様々な交通場面を走行しながら、その場面に応じた安全運転のポイントを検証していきます。

初心者ドライバー、また優良ドライバーが視聴しても、大変、有意義な内容となっています。

作品の概要

B級ライセンスを持ち、様々なサーキットレースの競技会にも挑戦している女性ドライバーがレポーターとして登場する。

ドライビングレコーダー映像や再現映像で、危険な場面を検証し、その後、レポーターの運転で常に危険予測をした、安全な走行を示していく。

■歩行者に対する危険予測

ドライビングレコーダーで捉えられた子供の飛び出し。あわや大事故という、危機一髪の瞬間だ。

再現映像で子供に対しての危険予測ポイントを整理していこう。子供を見つけた時、そのそばを通る時は常に「飛び出して来るかも知れない」と予測し、直ぐに停止できる運転をする事が大切だ。

高齢者は視力、聴力の衰えにより、車の存在に気づかずには道路を横断したり、予測不能な動きをとる事がある。その事を十分念頭に置いて、突然の動きの変化にも対応できるようにしておくこと。

■自転車に対する危険予測

ドライビングレコーダーが捉えた、渋滞した対向車の切れ間からの自転車の飛び出し。自転車の男性が、走行中の車に激突する衝撃映像だ。

歩行者よりスピードがあり、不意な方向転換や飛び出しをする事もある自転車にも、十分な危険予測が必要だ。狭い住宅街の道路などでは、自転車の進路の先を観察し、急な進路変更なども予測した上で進行することが必要だ。

■交通量の少ない道路での危険予測

ドライビングレコーダーで捉えた交通量の少ない道路を走行中の映像。突然、脇道から子供の自転車が、猛スピードで飛び出して来て激突！

交通量の少ない道路では、通り慣れた道である事などから警戒心が薄れ、油断が生じやすい。どんなに通り慣れた道であっても、危険を予測し、いつでも止まれるスピードで走行することが必要だ。信号のない交差点では、停止線で必ず一時停止し、安全確認後、徐々に見通しのきく位置まで進み、再度の安全確認後、進行するようとする。

■信号のある交差点付近での危険予測

最近、事故を起こした運転歴15年のAさん。事故を起こした交差点で、なぜ事故を起こしたか語ってもらう。交差道路で渋滞中の車が道を譲ってくれたため、急いで発進。停まってくれた車の隣の車線を走行してきたバイクと衝突してしまった事故だ。車が道を譲ってくれると「早く通過しなければ」と焦りが生まれ、その結果、危険予測がおろそかになり、事故を起こすケースも多い。Aさんは語る。「物の陰とか、停車車両の死角を予測した運転を心がけるようになりました」

■信号のある交差点での危険予測

大きな交差点では、対二輪車との右折時の事故や左折時の巻き込み事故が目立っている。四輪車、二輪車それぞれの視点に立ってみる。すると事故が起きる直前まで、お互いに相手は死角に入り、全く見えていない事がわかる。そして四輪側は二輪車を発見しても、その速度を過小評価しがちだ。

四輪ドライバーから見える四輪車と二輪車の距離感の違い、バックミラーでは二輪車が死角に入りがちな事も、走行実験により検証していく。

文部科学省選定 推薦：財団法人 全日本交通安全協会

製作統括・監督 高木 裕己

撮 影 松尾 研一

選 曲 YOKA

助 監 督 岡 元太／江田 剛士

ナレーター 岐部 公好

レポーター 藤本 えみり

■¥68,250（税込）

■VHS・DVD[カラー・19分]

DVDには字幕付き映像も収録されています
(VHSには字幕付き版もあります)

2011年

●お問い合わせ、お買い上げは……

(株)オプチカル 販売課 教育映像係

香川県高松市屋島西町2484-8

TEL 087-841-1100

FAX 087-841-1101